

「芦花部小・中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

奄美市立芦花部小中学校

2 学年・人数

小学1年～中学3年（小学生25名・中学生18名 計43名）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成30年9月10日（月） 芦花部小中学校体育館

平成30年9月13日（木） 芦花部小中学校校庭

(2) 発表の日時・場所

平成30年9月16日（日） 芦花部小中学校校庭

芦花部小中学校秋季大運動会にて

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称 八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

奄美大島では、旧暦の八月に五穀豊穡を祈り、感謝の気持ちを捧げる考祖祭があり、その中で踊られるのが八月踊りである。集落によって様々なスタイルがあり、芦花部校区にある2集落においてもスタイルが異なる。

(3) 構成等

男衆は指笛を鳴らし、女衆は太鼓（チヂン）を叩く。一つの円を描き、男衆、女衆それぞれが掛け合いながら歌を歌う。踊りの最後には六調（ろくちょう）で締めくくる。

5 保存会や地域との連携の具体

芦花部校区にある芦花部集落、有良集落の老人クラブに隔年で依頼している。集落の方に指導を仰ぎ、運動会では最後の種目として、児童生徒、校区民、保護者、職員全員で踊っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎年運動会の最後の種目として固定している。学校と地域老人クラブが密に連絡を取り合い、限られた練習時間で効率よく練習できるようにしている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場）



【運動会 多くの方々が参加】



【運動会 円には様々な方々が】



【八月踊りの最後は六調】



【六調の歌は中学生が歌いました。】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童生徒】

六調のときに、初めて歌を歌いました。私の歌でみんながおどってくれるのを見て、とてもうれしく思いました。これからも歌いたいです。

【保護者】

初めて芦花部小・中学校の運動会に参加して、一番驚いたのは、最後の八月踊りでした。地域との一体感を感じました。また、六調の際に、唄や三味線、太鼓を中学生がやっているのも素晴らしいと思いました。これからも島の文化をいろいろな形で子どもたちに継承して行ってほしいと思いました。

【地域の方】

年々踊りが上達してきている子どもたちを見て、とてもうれしく思います。子どもの頃から、目で見えて踊りを覚え、耳で聞いて歌を覚え、それが今では私の宝です。ぜひ、子どもたちには受け継いでいてもらいたいと思います。

【教職員】

練習の時からたくさんの地域の方々に協力していただき、地域に支えられている学校だと改めて実感しました。奄美は固有の文化があり、それを奄美の方は誇りに思っています。学校としても、伝統文化を継承できるよう、今後も様々な工夫を施していきたいと思っています。